

現在の会員数 一般会員 99名 団体会員 5団体 (令和5年3月現在)

## 第46回会員集会の報告

日時：令和6年2月17日(土)13時30分～15時30分

場所：日本水道会館会議室及びWEB (Zoom)

講演1：B-DASH 事業の成果とその普及展開・水道版  
B-DASH も含む

講師：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部  
下水道国際・技術室長 西 修 様



写真-1 講演中の西様

西様は、講演前日まで石川県庁で能登半島地震の対応に従事されていたことを踏まえ、現地で撮影した写真を交えながら被災地の状況を紹介されました。また、国交省が主導する新技術導入のフローや下水道技術ビジョンの概要をはじめ、下水道汚泥の肥料利用、脱炭素、ウォーターPPP、水道行政移管といった下水道をとりまくトピックスについて解説されました。

講演2：水道分野における技術開発スキームについて

講師：水道技術研究センター常務理事

清塚 雅彦 様



写真-2 講演中の清塚様

清塚様は、水道技術研究センターの概要や主要な事業、これまで実施してきた産官学共同プロジェクトについて紹介されました。また、現在実施中のプロジェクトとして浄水処理技術(A-MDELS)、管路技術(STAMPS)についてそれぞれPRされたほか、「UV-ACE」、「Aqua-Bridge」、「A-smart」、「A-IDEA」、「Aqua-LIST」といった取り組みを紹介されました。



写真-3 会場の様子

## 定例幹事会の報告

日時：令和6年2月17日(土) 12時～12時50分

場所：日本水道会館及びWEB 会議

議題：①次回講演会の講師の選定について

②その他 (講演集制作の分担など)

## 編集後記

1月1日に能登半島で地震が発生し、現在も一部の地域では断水が続いています。応援隊の進行を妨げる交通状況や上流部の基幹施設の破損、過疎高齢地域の被災等、既存の防災スキームでの対処が難しい課題が山積するなか、今なお最前線で復旧に携わられている方々や後方支援に尽力されている上下水道関係者の方々に心より敬意を表します (幹事 西田有輝)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。  
詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>